

## 平成26年度第2回 西木地域審議会議事録

日 時 平成26年9月19日(金) 18時～19時43分  
場 所 西木総合開発センター 2階 農林研修室  
出席委員 門脇健郎会長、橋本左武郎副会長、橋本敦子委員、武藤晟平委員、  
佐藤一委員、阿部昭司委員、武藤清茂委員、赤倉祐子委員 (8名)  
委 任 状 佐藤雄孝委員、鈴木富士男委員、布谷和好委員、佐藤幸委員 (4名)  
欠席委員 沢山純一委員、齋藤瑠璃子委員 (2名)

### 仙北市関係者

仙北市長 門脇光浩  
副市長 倉橋典夫  
総務部長 藤村好正  
西木地域センター所長 高橋貞二

### 事務局

企画政策課長 平岡有介  
企画政策課参事 戸澤浩  
企画政策課庁舎整備推進係長 村瀬克広  
企画政策課庁舎整備推進係 主任 永井尚  
企画政策課企画政策係 主任 柏谷有紀

- 会議次第
1. 開会
  2. 会長あいさつ
  3. 市長あいさつ
  4. 議事  
案件1) 西木地域審議会提言書(案)について  
案件2) 庁舎整備(案)について(新市建設計画の変更)
  5. 閉会

### 内 容

#### ・会長あいさつ

1日働いて大変お疲れの所をお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。農家の方々は刈り入れ、収穫の時期になりました。急いで刈った人は、青米が多くてダメだったという声も聞いています。稲の色は黄色くなり刈り入れ時に見えますが、実際刈ってみるとそういった状況であると聞きました。大変忙しくなる訳ですが、頑張りたいと思います。さて、今日の会議は2つ案件があります。審議会の提言書案について、そして皆さん関心があると思いますが、庁舎整備案についての2点です。活

発な意見等をどうかよろしく申し上げます。

#### ・市長あいさつ

お仕事にお疲れの所、ご足労いただきましてありがとうございます。今門協会長から話があったとおり、暑い夏が終わって、あつという間に朝夕が寒くなり稲の刈り時になっています。夏は角館高校の野球部が本当に暑い夏をプレゼントしていただきました。地元で1つしかない高校ですので、また来年も再来年も一生懸命頑張っていたきたいと思っています。

この2日3日の間に米の値段が8,500円という大変ショックなニュースがありました。皆様方に大変ご難儀をかけて所得10%の議論をしていただいています、農業市でありますので米の価格が下がるとそのまま農業所得に反映し、市町村の経済力が減少してしまうということです。今話しを聞くとJAで手当もあり、それに対して市でも応援しなければいけないという部分もありますが、それでもまだまだ大変な状況があります。この議論は10月に成案になって、10%のかさ上げに対する方法として認知していただくこととなります。この議論を早くして良かったと思いますが、実態としては農業者の方々は大変な状況であるということです。今年は更に厳しい状況で農業ビジョンを作るということで軌道修正をさせていただいています。今日が皆様方にとっては最終的な議論の場面になりますが、きちんと提案いただき、それを実現していくために努力したいと思っています。

庁舎整備について、後ほど皆様にきちんと説明させていただきますが、仙北市が誕生して来年で10年になります。その節目の年になっています。10年間色々な議論をしてきたつもりですが、この次の10年を見据えて仙北市が仙北市として発展していくためにも、庁舎整備は避けて通れないという思いで提案させていただいている状況です。先ほどまでの市議会総務文教常任委員会協議会でも17時まで議論をしています。この議会は26日まで続きますが、色々な場面で議論がされています。10月になると今度は各地域を訪ねて10箇所程でこのお話をし、お手紙やインターネット等でご意見もいただくということもしたいと思っています。どうか皆様方のご意見、ご協力をお願いしたいと思います。

仙北市は秋田県内の市町村でただ1つ、国家戦略特区に申請をあげています。色々な情報が入ってきています。この中にある耕作放棄地対応や農業生産法人に関する規制緩和等について提案させていただいています。これも地域審議会から出た案ということで国に規制緩和をしていきたいという話をしています。また、かたまえ山森林公園の山の幸資料館については、議会の中では田沢湖クニマス未来館と一緒にするべきだという意見もまだありますが、西木地域審議会から意見をいただいているということもお話しています。どうか大変重要なテーブルでありますので、この後もよろしくお願い申し上げます。

議事 案件1) 西木地域審議会提言書(案)について

事務局 柏谷 | 資料【西木地域審議会提言書(案)について】に基づき説明。

本日いただいた意見により、追加修正を行い提言書とするため、最後  
に出席者の方々に議決をお願いします。

門脇会長

今内容について説明がありました。この地域審議会に諮問された件に  
ついて、これまで出された意見を集約したものが提言書（案）です。  
追加あるいは訂正がある場合は発言をお願いします。

佐藤委員

追加でお話します。年寄り、老人が10%に向かっていけばというこ  
ともあると思うし、女性参画の観点もあると思います。この地域は、  
山や水があることをもう少し考えてもいいのかなと思います。具体的  
なものを2点お話します。1つは女性、老人でも出来るものというこ  
とで、今ミニ盆栽は見せることで色々やっているようです。これをお  
金にするとなれば、例えば西明寺は夏ハゼの盆栽、それとそれに使う  
石。例えば田沢財産区は焼石、軽石が多くあるはずで。それを小さ  
くしたものをセットするなどがあると思います。それから下に敷くの  
は白岩焼きにするなどはどうでしょうか。もう1点はクリオンです。  
色んな地域の方が利用されている様です。ここでメインになるもの  
はないでしょうか。例えば、水が豊富にあるので、なまず、ドジョウを  
扱うのはどうでしょうか。それからどぶろく特区になっていると思  
いますが、もう少し作ってクリオンで飲めるような環境を作れば3%、  
5%の所得アップに向かうような取り組みにならないでしょうか。こ  
の2点について追加してもらいたいです。

門脇会長

大変ユニークな発想だと思います。市長は今の考えをどう思いますか。

門脇市長

良い考えだと思います。

佐藤委員

ガメロはどうなったのでしょうか。

門脇市長

川を一生懸命探して、あの当時は確認できていましたが今はどうなっ  
てるのでしょうか。

門脇会長

今日漁業組合の理事会で話をしましたが、採石場ができてから石の間  
に細かいのが入ってしまい、ガメロも何も出入りできない状況になっ  
てしまったためにいなくなってしまったということでした。

門脇市長

ガメロの正式名称はなんだったのでしょうか。

(各委員)

アカザ。

門脇市長 杉山先生という県立大学客員の先生でクニマス発見時大活躍した先生ですが、桧木内のアカザに着目して一生懸命調査して生息を確認していました。しかし今の話はドジョウやナマズを養殖してという話ですよ。ドジョウは誰かやったような記憶があります。

門脇会長 田んぼにやりましたが、全部いなくなっていました。

門脇市長 ドジョウはとても良いと思います。カジカを目当てにクリオンに来るお客さんもいるそうです。そういったのを提供できるという事に出来れば一番良いと思います。クリオンがやるということになるのか、第3セクターですからね。どこがやるかという話は後で整理しなければいけませんが、内水面の魚類の特産化というのは今までありませんでした。山や畑のものは多くありましたが。これは桧木内川をもっているという水が豊富ということでは、1つの大きな着目点だと思います。なじみの案の箇所にも明文化出来ればと思います。それと、どぶろく特区は特区になっています。確か作る場所と売る場所が異なればダメだったと思います。例えば農家民宿でお客さんに飲ませるためにはその場で作る必要があり、お店に卸すといったことはダメだったはず。クリオンで仕込めばいいと思いますが。

佐藤委員 そういった意味でした。

門脇市長 それは検討させてください。

佐藤委員 腕の良いおばあちゃんがクリオンで作られないかなと思いました。

門脇会長 北秋田市の打当温泉ではどぶろくを提供していますよね。

門脇市長 あれはおそらく打当温泉で仕込んでるので提供できるということだと思います。

門脇会長 せっかく特区の認定をうけているのに、やらないでいるのはもったいないと思います。

門脇市長 検討します。それと軽石や白岩焼きといったことについては、誰かやってくれる人はいるのでしょうか。そういった新しい商品開発をしましょうという事は盛り込むとして、見せてもらえると一番いいのかもしれない。

佐藤委員 今角館では見せる盆栽はやっています。腕のある人がいるはず。

門協会長 やはりそういった様に、やってみよう！という気持ちが大事です。それをもちろん応援したいと思います。

佐藤委員 マイスターでしたか。その中に盆栽関連はいないのでしょうか。

門協市長 盆栽のマイスターはまだいないはずです。

佐藤委員 掘り起こせばいるのではないのでしょうか。

門協市長 それは掘り起こした方がいいと思います。うまく文章の中に、それだけではなく色々な可能性があるように、色々な挑戦に対して応援するというような書き込みがあるといいかもしれません。

佐藤委員 クリオンの売店でなすやキュウリがあります。誰が持ってきているかはわかりませんが、売れるそうです。あの場所に西木のものを置ければいいのではないのでしょうか。年中販売できるとなればクリオンが一番良い場所だと思います。

門協市長 今の話はクリオンの経営者会議の時にさっそく話をします。話のイメージとしては道の駅の様な物販を出来る拠点にクリオンになったらどうかということですよ。

佐藤委員 そうということです。

門協会長 他にありますか。提言（案）について。

藤村総務部長 4ページの独自テーマ部分ですが、かたまえ山森林公園の「かたまえ」の表現が漢字とひらがなと2パターンになっています。どちらかに統一した方がいいと思います皆さんにお聞きしました。

門協市長 パンフレット等では「かたまえ山」です。

門協会長 ひらがなの方がいいのではないのでしょうか。親しみ易く覚えやすいとなればひらがながいいのではないのでしょうか。いかがでしょうか。

ひらがなで賛同

門協会長 それではひらがなで表記することにします。他にありますか。先ほど市長のあいさつにもありましたが、米の値段は困りました。

門脇市長 在庫を抱えてしまいさばけていないという事で、このような状況になってしまったということでした。今年通常であれば平年並みの収穫です。そうすると在庫分を刈ればまた同じ在庫が生じる状況です。仮価格でいけば増えるという事が無いということです。

門脇会長 そうなれば县市町村の段階で解決できる問題ではないですよ。知事も米依存脱却の必要性を改めて強調し、複合経営の推進に取り組むということを新聞で見ました。複合経営となれば1町歩2町歩の百姓だと難しいです。今私の部落でも跡継ぎがいなくなっています。何年かするとその家では農業をやめるという家が多いです。もっと深刻に考えるべきだと思います。いずれ大きい問題です。

門脇市長 提言書案の中に、農業関連で農業生産法人の考え方がでています。今非常に農業生産法人は着目されています。法人を設立するにあたってハードルが高いという状況があります。農業者5人にもう5人で100万円を資本とした生産法人を作ると仮にすれば、半分の50万円は農業者が負担しなければなりません。その50万円が辛いという人達が多くいます。そのため出資比率、役員の数も地元任せにしたいということをやっています。また更に、一回生産法人が買ったり、借りたりする農地が、仮にうまく経営がいかなくダメになった場合は、それこそ耕作放棄地を生み出す要因になってしまうという事を国で心配しています。それに対して、こういった手当をしたいという具体的な提案を仙北市から出したいと思っています。ここにあることを、今国がトップで認めるか、認めないかという対決の状況です。

門脇会長 国の農業政策で2～3年ともってきた政策がなかった様に思います。3年経過すればまた新しい政策になり、農家が難儀してきているという印象です。今農協改革の話もでていたと思います。

門脇市長 今完全に国は中央会を株式会社化していくという話をしています。

門脇会長 農協法に規定されている以外の事業を手がけられるようにすると、経営の自由度を高めると新聞に書いてしました。本当に農業をわかって取組んでいるのでしょうか。

門脇市長 例えば会社と同じ考え方で、農協は株主が農家になります。株主の利益になるようなことを農協がしているかというのが議論の出発点でした。その中で流通政策や手数料政策が顕著にあって、良いか悪いかは別にして、そういった所から利益をいただいているという考え方から、

	もっと地域に貢献できるような農協になってもらいたいというのが基本の様です。どこまで進むかということは今の所は不透明です。しかし農業委員会の改革は進んでいます。
門協会長	農協については色々な事があります。ちょっと話がそれましたので戻したいと思います。提言書案について他にご意見はありませんか。  <意見なし>
門協市長	それでは次のテーマに進みます。

議事 案件2) 庁舎整備（案）について（新市建設計画の変更）

門協会長	説明をお願いします。
事務局 (平岡課長)	資料【仙北市庁舎整備基本構想（素案）】に基づいて説明。 全項目の説明ではなく、核となる点について説明。 P 4 統合庁舎の必要性 P 1 2 庁舎整備計画①「利便性と機能性」の視点から P 1 4 事業費 P 1 4 総合支所及び出張所の役割・機能 P 1 5 角館庁舎西側庁舎及び中町庁舎 P 1 6 整備スケジュール P 1 7 資料1 P 1 8 資料2  地域審議会は新市建設計画の進捗や建設計画について意見をいただくという役割もあります。当然、新市建設計画についても、庁舎の位置が固まる場合は、合併特例債を借入する際にも見直しをする必要があります。そうした面でこの後数回にわたってご審議いただき、ご議決いただく場面があると思います。今日は意見をうかがうということですが、この後も色々とお願ひする事があると思いますので、ご了承いただきたいと思います。
門協会長	庁舎建設の概要について説明がありました。皆さんからの意見はありませんでしょうか。大きい問題なので考え方をどんどん話してください。私はこの素案は誠に気に入らない。皆さんはどうですか。
阿部委員	今あるものを活用するという事は良いと思いますが、駅から近い、

内陸線が停まるということだけで場所としては良いのでしょうか。角館に車で行くとき、道路は整備されると言いますが、どうでしょうか。駐車場は200台ほど必要ということでしたが、その場所は実際に市でもっているのでしょうか。

門脇市長

少し説明を加えていくと、まず場所についてはここありきという事で最初から作業したことは全くありません。様々な比較をして最善、最良の場所としていきつきました。その様々な項目があり、数字化もしました。気持ちがそこに入るか入らないかということがありますが、今の状況で、私達の提案としては、ここが一番ベストということは無いかもしれませんが、ここ意外では考えられない状況です。要点の中に交通の話をする、今までずっと前から言っているとおり、ある施設を有効活用して改善し、足りない部分は増築していくとなれば一番安くなると。あまりお金の話をこの場面でするべきではないということが一方ではありました。ただ、課長が説明したとおり、今仙北市の財政は180億円ですが、その半分の90億は地方交付税で国から面倒見てもらっています。その90億円がこの後おそらく3分の1なくなると言われています。30億円減少していくと、60億円しか入ってきません。単純に歳出で30億円をどうやって埋めるのかということがあることから、今お金を使って建物を建てるということは良くないという財政的な視点も1つあります。そこも踏まえなければなりません。アクセスも考えていけば、例えば西木庁舎、角館東地区公民館、田沢湖庁舎と限られます。そうなっていけば、比較するとここが有利ではないかということになります。それと今目に見える部分と見えない部分というがあると思いますが、岩瀬北野線は今のバイパスから大塚に向かっていく道路でまっすぐになります。今は形は見えませんが有利と考えています。

平岡課長

病院跡地という以前に、どれだけ面積が必要かということで試算していたところ17,000㎡があれば来客、職員の駐車場も確保でき、冬期間片側に除雪したとしても大丈夫ということでした。市がもっている用地が17,000㎡あり、砂利の駐車場の一部は3人の方々から借りていますが、それを足すと約19,700㎡ほどあります。

門脇市長

そういった土地が市内にはもう無いという事です。

門脇会長

他に意見はないですか。ないとすれば私から。ここに地方自治法第4条第2項ということで、事務所の位置を定め又はこれを変更するに当たっては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならないという定

めがあるようです。これを読んでみると、地方公共団体の事務所の位置決定の基準として、住民の利便にもっとも適合するよう、交通の事業、他の官公署との関係等と考慮すべきことが定められていると、この場合他の官公署との関係は住民の利用に便利にあるように考慮されるのであるからなるべく同一場所に設けることが適当であるとしているものであると、その他位置決定合理的判断の基準としては、学校、農協といった所までも考慮すべきであろうと。ここまで書いています。はたしてあの場所が、田沢湖、西木、角館全体を考えた時に、中仙境は自治法に則った場所になっているのでしょうか。窓口の証明書発行が多い、少ないといった考え方はどうなのか。証明書を発行するために出張所等を置いているんですよね。それから郵便局でも証明書をとれるようにするのであれば、そんな事は書く必要もない。これはめっちゃくちゃだ。

門脇市長

説明としては諸証明の発行は59.4%という話はしていますが、それは説明がわかり易くするためにお話しさせていただいています。それから地方自治法との関係は、私今回の議会で地方自治体にそって考えたものですかという質問に対して、そうではないと発言しています。そこは理解していただきたいと思います。なぜかという、基本的に会長と同じ考えです。決して地方自治法にこう書いてあるからという決定ではありません。様々な比較検討した結果、一番いい場所がここであるという判断です。それがたまたま仙北警察署があったり、角館消防署があったりという場所になじむということは、その後の話です。

門脇会長

警察や消防署については重要だと思います。

門脇市長

県の方にも、例えば市役所を今の場所でない所に仮に新築したときに、この後仙北警察署を改修するときに私達の方に近寄ってきてくれることは可能ですかという話をしましたが、それは難しいということでした。今ある形のものが未来永劫続くと言うことはあり得ないという考え方で行っています。市役所が移ることで、様々な官公署が移るということがあるかもしれませんが、そこまで想定しての話です。

門脇会長

これまでの委員会が出された神代の105号と46号が交わる付近への案は、なぜダメだったのか。我々はそれはある程度住民の理解を得られるという気がします。

門脇市長

あの時私がみんなの庁舎検討委員会市民会議を設置させていただいた目的について、会議の一番最初にお話しています。今までのような財政論に左右されるような庁舎の考え方をしなくても良いですとしまし

た。そうしなければ本来あるべき姿の庁舎について議論ができないと  
思っていたためです。例えば職員が事務をするという箱という考え方を  
捨てて、市民が親しみやすい庁舎はどういったイメージなのか、どこ  
にあることが一番良いのかといったことについて考えて欲しいという  
意図でした。私の言い方も非常に申し訳なかったのですが、あの方  
々に対しては財政論を考えずに議論していただきました。今立ち返っ  
てみると、そういったお願いをしたことは無謀なお願いではなかった  
かという気持ちもあります。いざ現実的に30億円ずつ無くなっていく  
ことを考えると、財政論をなくして庁舎建築・増築は考えることが  
できませんでした。

門脇会長

庁舎というのは仙北市の顔です。そして、市長が言うように市民が親  
しめる、あるいは憩いの場でもあらなくてはならないという考え方  
です。今の場所を利用して建築しても、我々は憩いの気持ちにはなら  
ないのではないかと。

門脇市長

おそらく会長と私達のすれ違いの一番大きい所は、以前の病院の話も  
そうでしたが、私達は例えば落合に移転する新病院は仙北市の端とい  
う考え方ではありません。庁舎も仙北市の端に建てるという考え方  
はありません。確かに市民の方々から税金をいただいて、市民のため  
に仕事をしていくことが本質であることは確かです。しかし仕事を遂  
行していくためには仙北市だけで完結出来ない事は8割9割です。行  
政の実務からいくと9割9分という事も考えられます。その権限を市  
に移管してほしいという事実もあります。県と広域的な考え方の大仙  
市との連携が直接市民の方々の行政サービスに跳ね返ってくる場面  
が多いです。そういった事を考えると、出来るだけ県にも近く、地域振  
興局にも近く、この大曲仙北の中で広域を司っている行政体にも近い  
ということは当然の考え方となります。そこで市民の方々と相異する  
と思うことは、仙北市の中で仙北市でという考え方でいくと、中心地  
にできるだけ近いところがいいのではないかとこの事にはなると思  
います。

門脇会長

いや、私はそういった考えで話しをしていません。病院を利用する人  
は中仙・太田といった方々が6割ほどあるという話をされました。そ  
うすると田沢湖・西木の奥地から、心筋梗塞であれば30分以内に行か  
なければ死んでしまうような方々が出た場合はどうするのか。お金の  
問題で出来ないというのはいいのか。死んでもいいのか。そういった  
考え方は違うのではないかと。お金の事ばかりを考えないで、いずれは  
田沢湖までの高速も出来るかもしれないし、そうすれば20分～30分  
で搬送できるかもしれません。やはりなるべく上の方を考えてほしい。

大曲仙北の病院で考えれば、全県的で病院の配置を頭に置いて事業を行うべきだ。広域的な考え方で病院の配置を考えるべきだったと思う。

門脇市長

まさに会長のおっしゃる通りです。全県の中で8つの地域の区分で、医療圏を構成して、その中で適切な配置はどこかということで、今の場所になりました。当然、県の方々との医療圏構想の中でできています。

門脇会長

それは理解されていないと思う。

門脇市長

もうひとつだけお話ししたいことは、仙北市民の命を守るため行政で病院を運営していこうという決意をし、改築するというに至りました。改築し病院を経営していく時に、お客様に利活用していただければ、病院は経営できません。その診療報酬の仙北市外の割合は4割です。その方々のためにということではなくて、その方々が訪れてくれることで得られる診療報酬があることで、この病院を継続して運営できるという財政的な側面があります。

門脇会長

緊急の場合は豊岡、太田から行っても組合病院までは20分～30分で行きます。田沢湖の方々と話してみれば、盛岡に行くのであてにしていけないと言っています。そういった考え方で出来た病院です。副市長は田沢湖の人だけれども。実際そういった話がされています。

門脇市長

全てが会長の言うような意見ではないです。会長の周りの何人かはそういった話をするとありますが・・・

門脇会長

私と話しをする人はまずほとんどそうだ。

門脇市長

それは会長の周りの方々がそういった話をされるということだと思います。

倉橋副市長

病院の話ではなくて庁舎の事ですが、私は生保内なので合併してから合併協議も色々伺ってこれまできました。例えば今の田沢湖庁舎を統合庁舎にするという案を示したら、これはおそらく無理だろうという思いがあります。合併した後、議会事務局におりましたが50名ほどの議会を開催する際に場所がなかなかありませんでした。その時に田沢の学校が廃校となり空いたので、その案を出したらとんでもない話と言われました。玄田坂をこえたら行かれないといった様に怒られた記憶があります。庁舎を場所の問題として考えると、皆さん色んなご意見があり、全員が賛成というのはかなり難しい問題だと思います。今

	<p>回私が思っているのは、統合庁舎の問題と合わせて田沢湖と西木地区の振興をどのように図っていくかを考えています。そこを皆さんに是非検討していただきたいと思っています。</p>
門協会長	<p>何を図っていくのですか。</p>
倉橋副市長	<p>田沢湖と西木地区の振興です。西木地区をどのようにしていくかというのを私は考えていきたいと思っています。それは総合支所という案がありますが、その支所をどのように位置づけるかということです。その検討をお願いしたいと思います。</p>
門協会長	<p>300人でしたか。最終的な職員数の327人は一般会計の職員ですよ。</p>
倉橋副市長	<p>そうです。統合庁舎には200人の収容です。</p>
門協会長	<p>215人だとすれば、112人は外にちらばる訳ですね。</p>
倉橋副市長	<p>それは保育園やにしき園の職員も入っています。総合支所には15人ずつで30人を想定しています。</p>
門協会長	<p>議会の方々もこれで良しとって一般の人達も良しと言うならばいいのだらうが・・・。</p>
橋本副会長	<p>病院の時もアクセスの話が出ました。大仙市からの患者がいるということでした。病院を新しく建てれば良いという考えでなく、質だとお話しました。やはり今市長言うには、振興局、大仙に近い方が良いと。それに合併特例債は解体に使用できるのでしょうか。</p>
門協市長	<p>使えます。</p>
橋本副会長	<p>たまたま病院があのような状態だから、本当にタイミング良くあの場所に庁舎を持っていくととらえています。会長が言ったように、岡崎や羽根ヶ台という話も聞いていました。お金を出来るだけかけないでやるのではなく、将来的にどうなるのかを考えてもらいたいと思っています。あとでこうしたら良かったなどの後悔が無いようにしてもらいたい。</p>
門協市長	<p>お金の話をするとこういった事になってしまうので、私達も出来るかぎりお金の話を優先したような話をしないように心がけています。決して嘘をつくつもりは無く、大切な事は新しく庁舎を整備したときの</p>

機能は何か、市民の使い勝手はどうか、というのを優先していくと。そうすれば、必ず全部が新しくなくてもいいだろうとなっていく。その中の6000㎡の半分を耐震力があって、バリアフリー、エレベーターがあるという管理棟を活用しないという手はないだろうと。色んな比較検討していく中では材料をみつけていった最終形という理解をしていただきたい。最初からありきではありません。

門協会長 市民の感情的な部分を害せず、計画そのものに最初から地域もれのような案です。話にならないという感じがします。

門協市長 最初にそういつてしまえばダメだと思います。感情で話しをすると良くないと思います。

門協会長 感情で話さざるを得ない結果をここに出すからです。この中で証明書の数が多いとか、人口が減って、財源が減るからと、どの市長がやってもみんな切り抜けてきました。

門協市長 決して私がどうだということではなくて。

門協会長 それに立ち向かっていって、住民に理解される案をださなくてはなりません。

門協市長 それが最終形の案としてだしています。

門協会長 これは場所としても、環境としても決して良い場所ではありません。

門協市長 色んなご意見があることは十分わかります。私達は丁寧に説明していくしかありません。

門協会長 説明して意見を聞くということだったから、私も話しました。

阿部委員 カラス対策は大丈夫でしょうか。

門協市長 カラス対策は色んな話がでています。

阿部委員 角館総合病院に行ってカラスが一番気になります。あのカラスは鉄砲等で処分するべきだと思います。105号には雀も来ています。

門協市長 専門家の話でいくと、角館保育園のあの山付近の状況が、カラスに非常に好まれる環境ということです。

門脇会長	昔くらいはないのではないか。
門脇市長	少しずつ削っていますから。
橋本副会長	住民のモラルだと思います。食べ物があるから集まると思います。
門脇市長	ある人は病院から出てくる空気や匂いが引きつけるという話しをしていましたが、定かではありません。
佐藤委員	私も一言。これはだいたい決まっていく話だと思いますが、今の日本を考えても東京一極集中したから地方衰退が起きたと思います。こういう形にならないようにしてもらいたい。気がついたら上檜木内や田沢がなくなっていたというような形にならないようにしてもらいたい。今言った西木庁舎なり田沢湖庁舎を考えながら進めていってほしい。庁舎が建てば、商売する人も側にいきます。これからは買い物弱者、雪弱者についても考えてもらいたい。それから 14 ページの 3 庁舎を巡回する無料シャトルバスの構想は庁舎をぐるぐるまわるのですか。
門脇市長	少なくとも庁舎をまわろうと話しをしています。
佐藤委員	今タクシーでの買い物でも不都合を感じている人もいます。小山田あたりの人は良いという人いるが、幹線の方はダメと。そこら辺もシャトルバスと複合的な事を考えてもらいたい。角館に 2, 3 割の力だとすれば、他に 5, 6 割の力を出すような庁舎構想を考えてもらいたい。
門脇市長	私達も公共交通機関は出来るだけ弱者には厚くしたいと思ってやっています。しかし壁があります。それは道路交通法や国土交通大臣の権限があり、地方公共交通対策の権限があります。それを市町村に預けてくださいという特区の申請も行っています。決して見て見ぬふりをしていたという事ではなくて、法律の壁で出来なかったというものがたくさんありました。それをまさに特区でお願いしたいという話しをしています。
武藤（清）委員	やはり心配なのは格差です。置き去りにされると、角館は華やかでいいかもしれないが、こっちの方も考えてもらいたい。学校もなくなった経緯もあります。
門脇市長	少なくとも、仮に統合庁舎が角館になったから集落が無くなった、地域の元気がなくなったという事は起こしたくないという気持ちで向か

っています。その他に上げることはできないのかと。副市長もお話しましたが地域の特性を如何に伸ばせるかだと思います。皆さんも良くわかるとおり、行政がどれだけ絵に書いても、皆さんが参加してもらえないと全然動けません。

門脇会長 議会と協議会にかけたということだったがどういった意見があったのか。

門脇市長 まず本会議、各常任委員会で素案ということで提出していいです。そして市民の方々が手にするのは皆さん方が一番先です。それを説明させていただきたいという事で総務文教常任委員会協議会で構想の話をしました。その時には、私はこれでないかというより、こうしたらどうなるといった話が多かったと認識しています。

阿部委員 90億の交付金が60億になり、人口が2万5千人と想定していますが、これがもっと少なくなっていく可能性もあります。そうなれば仙北市でもつということが不可能になった場合、大曲仙北が一つになるという要素はあると思います。市長はいつ頃を想定しますか。

門脇市長 市長会や町村会という話しをする中では、平成の大合併以降の市町村の合併についてはまったくありません。昨日も国の方で情報収集してきましたが、今の安倍内閣は地方再生が最大の使命だと言っています。地域経済の再生にどれだけ取り組めたかということが評価と言っています。その手法の中で合併の「合」の字もないと。やる気があってアイデアがある市町村をどんどん伸ばしていくと。その伸ばしていく過程をモデルとして各市町村に頑張ってもらおうという絵をかいている状況です。

橋本副会長 今後の小中の統合はどうでしょうか。

門脇市長 来年から教育委員会の法律が変わります。教育委員長は教育長と同一人物になっていくという考え方です。ただ教育長と教育委員長の任期のうちはこの体制が維持されます。今の任期の中では、合併以前に話しがあった桜木内中学校と西明寺中学校の合併については、市は具体化していくという雰囲気はありません。私もそうなんですが、子供達の活動を見てメリットとデメリットがあります。いつまでも小規模校で良いのかという気持ちはあります。実際の所大曲仙北の秋季野球大会の時に、17学校が出ていますが16チームでした。なぜかという西明寺と桜木内の合同チームだと。

先ほど佐藤委員が言った様に、一極集中的になってしまいます。今の百姓も大変になりました。若い人達が勤めやすいところに全部集まってしまいました。そうすると当然子供達もいなくなります。何がなんでも学校を残すという所もあります。

門脇市長

教育長もそういった考えです。特に小学校については、徹底して地域に残すという考え方です。高校は幅のある考え方になっています。一極集中については、一極集中しなければ国力を増強できなかった時代も確かにありました。しかしその状況の豊かさだけではない豊かさを求めているという状況があります。それを実現していくためには地方でこそ生きようとして生活していくという方々が相当数います。そういった事を考えていけば昔の価値観で一極集中が是や否という考え方でない価値観が地方で生まれてきていると。これは絶対無視できないと思っています。経済だけの一極集中というのは時代遅れだと思います。

佐藤委員

上小阿仁村も頑張っています。小さくもみんなで頑張ればいいと思います。幸せというのはそういうことだと思います。ただお金があればということではないと思います。

門脇市長

それが佐藤大成議員の初めての質問がそれでした。お金だけではないはずだということでした。それに対しては、お金があまりなければ人にも優しくできなくなります。そういった所まで所得が下がるということは、町を作っていくうえでは良くないと言うことで、一定のお金はなんとしてもというお話をしました。

門脇会長

先のテーマに戻りますが、一人当たり分配所得で22位が18年度ですが、23年度は何位でしょうか。

門脇市長

確か2位ほどあがったと思います。しかし決して市役所のお手柄ではなくて、米価です。米の値段の8500円については、JAさんで手当を考えているようです。それを応援していくということはやらなければならないと思っています。

阿部委員

農業政策も10年も続くものを行う必要があります。毎年変われば対応できるのは法人だけです。10%向上というのは農家については絶対不可能な数字です。非農家の方々がどれくらい給料が上がるかだと思います。

門脇市長

どの職域に限らず10%上げたいというのがこの政策です。仮に、観光

分野で 30% 上がり、農家は 5% 下がったが帳尻合うという話しではありません。

門協会長 それでは意見が無いとすればこれで話し合いを終わりたいと思います。今の雰囲気では様子はわかったと思いますので、これからの庁舎建設の参考になればと思います。その他は何かありませんか。

事務局 次回の地域審議会の連絡です。具体的な日程は決めていませんが、10月中には合同審議会という事で市長、副市長に答申をする場を設定致します。時間についてもご相談したいと思います。

門協会長 休みの日の日中でも良いのではないかと。

事務局 土日も含めて日中の開催を検討したいと思います。

門協市長 国民文化祭のイベントが軒並み入っているので厳しいかもしれません。

事務局 10月～11月初旬を目安に開催したいと思います。以上です。

門協会長 それでは貴重な意見ありがとうございました。事務局で意見が集約されることと思います。それぞれこれからの行政運営に大いに役立てていただけるようお願い申し上げまして終了致します。

(19時43分 終了)